

海南市庁舎跡地活用懇談会 開催結果

平成27年1月

目 次

I. 懇談会の概要.....	1
1. 懇談内容.....	1
2. 構成員.....	1
3. 開催経過.....	1
4. 運営要綱.....	2
II. 検討方法.....	3
1. 検討内容.....	3
2. 検討対象用地.....	3
3. 現時点での市の考え.....	3
4. 先進地視察.....	3
5. ワークショップ.....	3
III. 先進地視察.....	4
IV. 検討結果（ワークショップ結果）.....	5
1 班.....	5
とりまとめ結果.....	7
2 班.....	9
とりまとめ結果.....	11

I. 懇談会の概要

1. 懇談内容

- (1) 市庁舎の跡地の活用に係る基本的な方向に関すること
- (2) 市庁舎の跡地の具体的な活用方法に関すること
- (3) その他、市庁舎の跡地の活用に関し必要な事項

2. 構成員

No.	役職	氏名	所属団体名等
1	座長	廣瀬 隆一	公募委員
2	構成員	森澤 義嗣	海南市自治会連絡協議会
3	構成員	富士 順一郎	黒江船尾地区連合自治会
4	構成員	上野山 高正	日方地区連合自治会
5	構成員	宮崎 雅夫	内海地区連合自治会
6	構成員	東 美智	海南市商店街振興組合連合会
7	構成員	下津 喜久男	海南市老人クラブ連合会
8	構成員	上芝 卓司	一般社団法人海南青年会議所
9	構成員	岩井 和美	海南市女性団体連絡協議会
10	構成員	岩代 昌也	海南商工会議所
11	構成員	森脇 啓太	下津町商工会
12	構成員	花畑 重靖	海南文化協会
13	構成員	張間 広子	NPO法人子育て・あそびサポートばお
14	構成員	谷垣 真喜子	公募委員
15	構成員	木下 宗彦	公募委員

3. 開催経過

日程	内容
平成 26 年 8 月 4 日	座長の選出、経過説明、今後の進め方など
9 月 3 日	第 1 回 ワークショップ
10 月 1 日	先進地視察（有田川町地域交流センター ALEC）
10 月 28 日	第 2 回 ワークショップ
平成 27 年 1 月 28 日	懇談会結果など

4. 運営要綱

海南省庁舎跡地活用懇談会運営要綱

平成26年4月1日
告示第43号

1. 目的

市庁舎移転後の跡地活用に関して、市民の意見を聴くため、市が主催する懇談会を開催する。

2. 名称

この懇談会の名称は、海南省庁舎跡地活用懇談会（以下「懇談会」という。）とする。

3. 懇談内容

- ・市庁舎の跡地の活用に係る基本的な方向に関する事。
- ・市庁舎の跡地の具体的な活用方法に関する事。
- ・その他、市庁舎の跡地の活用に関し必要な事項

4. 構成員

構成員は15人以内とし、次に掲げる者に依頼する。

- (1) 市民団体の代表者
- (2) 公募による者

5. 運営

- (1) 懇談会に座長を置き、座長は構成員の互選によるものとする。
- (2) 座長は、懇談会を招集する。
- (3) 座長は、必要があると認めるときは、あらかじめ座長を代行する者を指名することができる。
- (4) 座長は、必要な者に会議への出席を求め、その意見を聴取することができる。
- (5) その他懇談会の運営に関し必要な事項は、座長が定める。

6. スケジュール

懇談会は、5回開催する予定とし、平成27年3月31日をもって終了するものとする。

7. 事務局

懇談会に関する事務は、総務部企画財政課が行う。

8. 附則

この告示は、公布の日から施行する。

Ⅱ. 検討方法

1. 検討内容

海南市庁舎跡地活用懇談会運営要綱に定められた、以下の懇談内容について、検討を行いました。

- (1) 市庁舎の跡地の活用に係る基本的な方向に関する事
- (2) 市庁舎の跡地の具体的な活用方法に関する事
- (3) その他、市庁舎の跡地の活用に関し必要な事項

2. 検討対象用地

検討の対象となる用地を、次のとおりとしました。



①市役所本館・南別館	3,276.86 m ²
②市役所東別館	578.18 m ²
③市役所東駐車場	1,860.18 m ²
④児童図書館	243.89 m ²
⑤燦々公園	3,018.00 m ²
合計	8,977.11 m ²

3. 現時点での市の考え

現時点で、市から示されている跡地活用についての考えを議論の参考とし、検討を進めました。

市の考え

現時点では、市としては、地域の活性化に繋がる活用方法として、従来から要望の多い図書館機能や公園など、誰もが集い、憩える機能を備えた市民交流施設を整備する方向で検討を進めたいと考えています。

4. 先進地視察

実際の整備事例を参考にし、懇談会での議論に役立てるため、他市町村の先進事例の視察を行いました。

- (1) 日程：平成26年10月1日(水) 第3回懇談会
- (2) 視察先：有田川町地域交流センター ALEC

5. ワークショップ

懇談会での検討内容について、より多くの意見が提案されるよう、ワークショップ形式で検討を行いました。

- (1) 平成26年 9月 3日(水) 第2回懇談会
- (2) 平成26年10月28日(火) 第4回懇談会

Ⅲ. 先進地視察

1. 視察日 平成26年10月1日(水)
2. 視察先 有田川町地域交流センター ALEC
3. 施設概要

(1) 所在地 有田郡有田川町大字下津野704番地

(2) 施設規模

①全体面積 12,800㎡

②地域交流センター 鉄骨平屋建 2,314㎡

・本のあるカフェ(一般書・雑誌 45,000冊)

・マンガ館(漫画 35,000冊)

・ミニ博物館

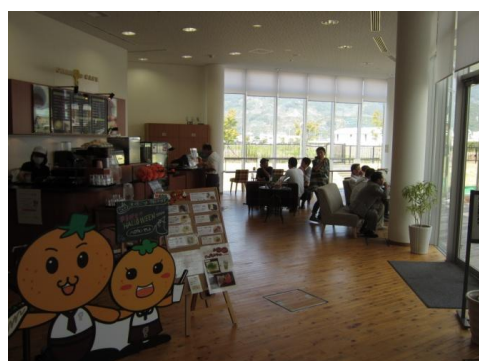
・オープンテラス

③水の公園・サークルテラス・芝生広場等 4,800㎡

④駐車場 83台

(3) 利用状況 毎月約10,000人

4. 視察の様子等



IV. 検討結果（ワークショップ結果）

1 班（H26.9.3 第1回ワークショップ①）

まちの良いところ・悪いところ

青：良いところ 赤：悪いところ 緑：提案

- ・海南を元気に活性化しようとする仲間がたくさんいる
- ・市民の人々が親切

- ・地震津波が心配
- ・津波に弱い
- ・地面が低い 1m
- ・津波が来る

- ・気候が温暖
- ・人口密度が高い（市街地近い）

- ・専門的な商店街
- ・海南市以外のお客様からの声ゆったり、のんびり、おしゃれな商店街です（ただし、おしゃれだけでは？）
- ・空き店舗活用 漆器
- ・紀州漆器、家庭用品等地場産業がある
- ・商業施設がない（大型店舗）

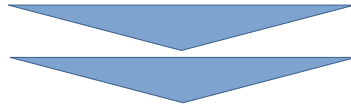
- ・ふるさとまつり 若者集まる
- ・少子高齢化が進んで市全体に活気がない
- ・少子高齢化（特に少子化）
- ・若い人の声を聞こう
- ・若者の集まる場
- ・ふるさとまつりには中心地に若者が集まるが、普段はどこへ行くのでしょうか
- ・若者の集う場所がない
- ・就労の場

- ・駅に快速が止まらない
- ・通勤に不便
- ・都会へのアクセスが良い
- ・中心市街地の道が良い
- ・交通の便が良い
JR、高速の入口が2つある
- ・駐車場が少ない
- ・車の進入禁止
- ・市街地にはJR、また国道42号、下津港があり、交通の利便性が良い
- ・中心地の駐車場の便が悪い（高い・少ない）
- ・市有地の有効活用（駅前駐車場用地）
- ・コミュニティバスを再度見直してほしい（中心地へ来る）

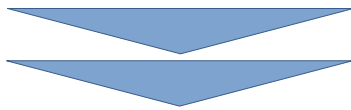
- ・観光地が少ない
- ・観光地がない
- ・食事処が少ない
- ・宿泊施設がない
- ・中心地に人が集まらない



1 班 (H26.9.3 第1回ワークショップ②)



- ・今のままでは、商店街として機能を果たさない
- ・昭和 50 年代のにぎわいを取り戻そう
- ・将来をみすえた計画を（2030 年には人口が 2 万人減る？⇒これをどうくい止めるか）
- ・コンパクトシティの強みを生かす



まちを元気にするために必要なこと

たとえば・・・

マリーナから海南中心地（消防署の海岸通り）にゴンドラをつなげて人を呼ぶなど

これからも自由な発想で考えていきましょう!!

1班 とりまとめ結果 (H26.10.28 第2回ワークショップ)

連携できる物語のあるまち

コンセプト

- ・ 連携できる物語のあるまち
- ・ 子どもたちが遊べる場所
- ・ 若者が地元に戻ってきたくるところ
- ・ マリーナで遊んで寄っていける施設
- ・ 横浜れんが倉庫のようなもの
- ・ 中に皆が集まる場所
- ・ 若者の集まる場
- ・ 若者のまち
- ・ 観光とむすびつけて集客施設
- ・ うまいもん
- ・ 市民会館的なもの
- ・ 市庁舎の解体ガラを積み上げて津波対策



交通条件

- ・ インターが3つある。
このメリットを生かす
- ・ バスも停められる駐車場
- ・ JR

食 -観光客・まちの人-

- ・ マリーナからの帰りに寄ってもらえるような観光地
- ・ 食事処 バスでも寄れる場所
- ・ うまいもの・食事処が良い
- ・ 道の駅
- ・ 海南にしかないものを売るところ
- ・ 四季を通してPRできるもの

図書館的

- ・ 子ども中心の図書館
- ・ 情報発信できる図書館
- ・ 読み聞かせ
- ・ 図書館 海南らしいもの
- ・ ホール
- ・ 海南のインフォメーション
- ・ 自然博物館との連携
- ・ 歴史民俗資料館との連携
- ・ 本物をみせてやりたい
- ・ カフェでは、地域で採れた野菜・魚
(近大まぐろ) をバイキングで

公園のイメージ

- ・ ソーラー公園
- ・ イベント広場 野外ステージ
- ・ 体験できる (うるし・たわし
だけでは弱い)
- ・ 森
- ・ 花畑

↑ ↓
商店街との
タイアップ

1班 ワークショップの様子



まちの良いところ・悪いところ

青：良いところ 赤：悪いところ 緑：提案

◆利便性・交通

- ・交通アクセス（車・電車）が良い
- ・駅前広場が美しい
- ・中心市街地が駅前にあり便利
- ・日方支所の設置
（高齢者や障害者の為）
- ・日方は海南駅を中心に発展してきた街であり、近郊からの客が日方に集まってきていた

◆人

- ・治安が良い
- ・若い人が少ない
- ・若者の居場所がない
- ・若者がいない
- ・大学がない
- ・地元愛 低い気がする
- ・人が少ない
- ・他府県へ行ってしまう
- ・ダサい
- ・駅前には津波の心配で人口が減ってきた。若者が続々いなくなっている。

◆まちのコンテンツ

- ・コンパクトな中心市街地
- ・イベントや祭りが多い
- ・空き物件や遊休不動産が多い
- ・（特に雨の時に）親子で遊べる場所がない
- ・駅周辺の便利な所に住宅がない
- ・空き店舗が多い
- ・市民活動ができる会議室等がない
- ・遊ぶ所がない
- ・文化的な施設がない
- ・食べ物屋さんが少ない
- ・街に歩く楽しみがない
- ・料理教室ができる場がない
- ・会社や企業がない

◆空地

- ・公園が少ない
- ・駐車場だらけ

◆その他

- ・自然が多い
- ・活用できる海岸線がない
- ・ジャスコ頼り意識

2班 (H26.9.3 第1回ワークショップ②)

まちを元気にするために必要なこと

住みたい町（街）

人が集うまち

理想のまち

色々な分野の人達の連携
（きずな）

◆人が集まる場所をつくる

- ・テナント
- ・ブックカフェ
- ・市場
- ・センスのよい図書館
- ・市民が集まれる施設
- ・スーパー銭湯
- ・老人と子どもが一緒に集える場所
- ・ちゃんと親子で遊べる公園
- ・プールのある公園
- ・緑を多く

◆住む場所をつくる

- ・市営住宅などの公営住宅を建てる
- ・子育て支援機能の充実
- ・児童館機能

◆働く場所をつくる

- ・インキュベーションオフィス
- ・co-working スペース
- ・働く所（働かないと定住できない）

◆外から人を集める

- ・ゲストハウスや宿泊施設
- ・街の案内所
- ・大学（和歌山大学のサテライト等）

◆文化をつくる

- ・映画館
- ・アートギャラリー
- ・スケートパーク
- ・ライブハウス

2班 とりまとめ結果 (H26.10.28 第2回ワークショップ)

跡地活用のコンセプト

こういう場所にする

- ・いつでも（誰でも）楽しめる
- ・家族で利用できる。楽しめる場所
- ・他にはない海南ならではの物がある
- ・雨でも気軽に行ける場所
- ・若者の出発点
- ・若者が元気になる場所
- ・若者が集う
- ・ここに行けば何かがある
- ・（心・体）健康

実現のための手法

- ・民営協働
- ・各分野のプロフェッショナルが手掛ける

活用の結果

- ・にぎわい
- ・街が変わる
- ・文化創造
- ・〇〇ができることで周辺住民が増える。商業が増える。
- ・ビジネス創出
- ・新しい海南の中心になる
- ・成長・進化し続ける施設

こういう機能を備えた施設（具体的な機能）

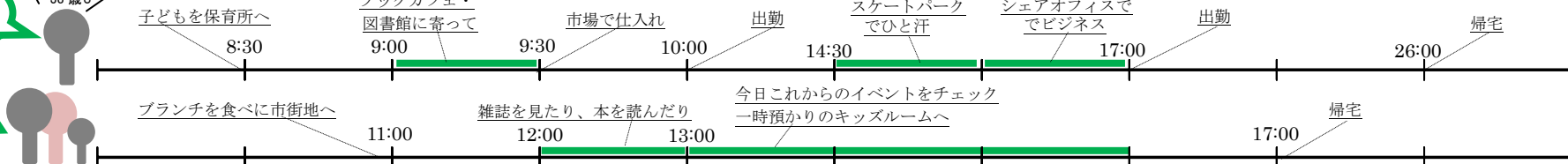
- ・テナントスペース
- ・屋外ステージ
- ・芝生広場
- ・ALECのような図書スペース
- ・小会議室
- ・スターバックスのようなカフェ
- ・ギャラリーコーナー
- ・チャイルドコーナー
- ・ランニングコース（ジム）
- ・ショップ等テナント
- ・スケートパーク
- ・空き家バンク
- ・ゲストハウス 宿泊施設
- ・鞆（うつぼ）公園のような公園
- ・街の案内所
- ・DIY工房
- ・インキュベータ
- ・co-working office
- ・シェアオフィス
- ・図書館 ALECのような
- ・アートギャラリー
- ・ブックカフェ
- ・ミニシアター
- ・ライブハウス、クラブ
- ・市場
- ・店舗
- ・ジム
- ・市民交流センターのようなホール
- ・雨の日でも遊べる
室内プレイルーム
- ・遊具があり、水辺があり、
イベントもできる公園
- ・市民が優先的に会議や
イベント等に使える場所
- ・子どもを預かってくれるところ
- ・屋上に散歩ができる場所
- ・500～600名入って演芸が
できるところ
- ・コミュニティバスを
今までどおりの停留所で
- ・24時間営業
- ・キーパーソン
- ・プロのアサイン
- ・デザイン

施設のある一日

こんな使い方ができたら

飲食店経営

38歳の



2班 ワークショップの様子

